

# 名戸ヶ谷ビオトープだより

第 67 号 2016 年秋号

<http://nadogaya-biotope.org/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：篠崎 将 Tel/Fax 04-7173-6353

## 収穫祭 11月6日(日) 実施



毎年実施している収穫祭も今年で14回目を迎えました。今年は稲刈後の天候不順のため、ハザ掛け期間が長く雀達の格好の餌場となり、収量は幾分少なかったが収穫祭は予定通り実施しました。今年の収穫祭は天候に恵まれ、名戸ヶ谷小の校長先生を初め児童も17名参加、総勢50名の参加で始めました。

昨年と同じ料理を出す予定でしたが唯一糯米の仕込みに若干の手違いがありましたが、会員皆様の知恵と経験で何とかできあがりました。

秋の青空の下で食べて、飲んで、吟じてなごやかな一時を過ごすことができました。

(園田 廣満)



# 6年ぶりの名戸小の稲刈りです



稲刈りの説明を聞いて早速作業開始

6年ぶりに名戸ヶ谷小学校の児童たちによる稲刈り学習が復帰しました。以前は5年生でしたが、今回は4年生 42名と担任の先生、校長先生も参加しました。

台風で稲が一部倒伏してしまい、田んぼに水もあって大変な作業になりました。稲刈り、運搬、束ね・稲掛け班に分かれての作業でしたが、泥んこがひどく、稲にもいっぱい付いてしまいました。もちろん子供たちも泥だらけで、ザリガニ釣り場では水風呂状態で泥洗いになりました。天気も良く、ザリガニを捕まえたりしながらみんな楽しく頑張りました。お疲れ様でした。



ドロンコポーズもかっこいい？



足を洗うつもりが身体まですっぱり

## 会員の稲刈りも大変でした

名戸小の稲刈り翌日の10日と17日に会員による稲刈りを行いました。うるち稲も一部倒伏していて、作業ははかどりません。天候も悪く、11日にも一部の方の稲刈りもあり、なんとか刈り終わりました。雀がいっぱい集まり、おいしい新米の食べ放題になりました。うるち米の相当量が食べられてしまいましたがこれも「生き物多様性」に貢献したことになりますかね。 (小笠原 智)



倒伏した稲刈りは手間が2倍かかります



田植えをした親子が稲刈りにも参加



名戸小の稲刈り前に環境政策課員も初挑戦

# 脱穀機が活躍しました

昨年の脱穀作業が大変でしたので、オークションで脱穀機を購入しました。エンジンもオークションで購入しましたが調子が悪く、急遽新品を購入しました。

機械の扱いが初めてなので、調整が難しく度々停止しましたが、唐箕掛けが不要なので作業はだいぶ楽になりました。10月16日一日がかりで名戸小分を残して作業を終わらせました。

## 名戸小が脱穀学習にも挑戦しました

稲刈りに続いて脱穀、唐箕作業も経験しました。天候が悪く、乾燥が進まなかったので予定を延期しての作業になりましたが、足踏み脱穀や唐箕選別など昔の米作りの大変さを体験できたでしょう。収穫したお米は名戸小のお祭り（11月5日）に会員も招待されてお赤飯にして食べました。美味しかったですね。来年も頑張りましょう。（小笠原 智）



脱穀機での作業：右手前の袋に粃が出ます



手前が発動機、ベルトで脱穀機を回します  
(粃が詰まって掃除中)



唐箕ってどうなっているの？



脱穀後の選別が大変



稲掛け下で雀が恨めしそう

最後の藁切り散布作業  
お疲れ様でした



## 秋の生きもの観察会

10月15日(土)9:30～11:00 快晴 気温 24度

朝から快晴で久しぶりの気持ち良い天気となりました。「柏の自然と生きものフェスタ」と共に開催し又名戸ヶ谷小へのポスターや、ちいき新聞への案内掲載等から父兄 9 名、児童 18 名の計 27 名と大勢の参加でした。初めに概要説明をし、その後は捕獲網を持って B ゾーンのザリガニ釣り場、三角池に向かいアメリカザリガニ、ウシガエルのオタマジャクシ、スジエビ、カダヤシなど捕まえて容器に移していきます。A ゾーンや木村さんの広場などアキアカネ、キチョウなど多く飛び交い歓声を上げて走りまわっていました。昆虫顕微鏡や望遠鏡などを見ながらも観察です。そ

の後は篠崎会長より捕獲した生きものについて、またメダカと外来種カダヤシの違いなどについての説明を受け熱心に聞いていました。

用意した生きもの写真集を児童に配布し、父兄には「名戸ヶ谷ビオトープを育てる会」のパンフを渡しました。

自然とふれあいながら楽しい時間であった事と思います。当日は会員活動日と重なり会員のみなさんも暖かく児童らを見守ってくれました。  
(藤平 三郎)



ザリガニいるかな!



どこにいるのか!



捕獲した生きもの説明



ビオトープの写真集を使い説明

## 秋の生態系調査



ジャコウアゲハ



羽化したルリタテハ

10月23日(日)9:00～10:00 秋晴れ 気温 21度

篠崎さん他会員4名の参加で晴れて気持ちの良い天気でした。多くのチョウやトンボが飛び交っていました。捕獲網を持ちABゾーンを探索し、又カメラで収めた名前の確認などで1時間の調査を終えました。小笠原さんがAゾーン湧水池(鈴木家の前)から大きな鯉を3匹捕獲してビオトープ外の小川に放しました。近隣の方がこの場所へ放したものと思われ、ビオトープの生態系を乱すものです。

今回は、事前に篠崎さんが20日、21日、22日と朝夕観察し確認した個体種を含めて111種となりました。皆さんの協力で環境保全の維持はされており嬉しい事です。

(藤平 三郎)



観察中です



交尾のアキアカネ

## 合同作業日の活動状況

### 9月17日(土)

9月は台風や長雨に祟られ予定された日程が思うように進まず、稲刈りが延期した日もあったが、なとか会員の皆様のお力添えで稲刈りは終了しました。写真左下は稲刈りの風景です。右は刈った稲を葉座掛けで乾草した風景です。



### 10月15日(土)

今月の活動は父兄・児童合わせて27名が参加した秋の生きもの観察会の応援をしながら、ビオトープ全域で黄色い穂を出したセイタカアワダチソウと花を付けたアメリカセンダングサ等外来植物の刈り取り駆除を行いました

(菌田 廣満)



# 今秋9月の見学グループの紹介

我が名戸ヶ谷ビオトープも知名度が高まってきているためか見学者が増えてきております。この秋9月には次の3グループが見学に訪れました。

9月12日(月) 10:30～11:15  
千葉県 生涯大学生8名

皆さん熱心に説明を聞いており、又ビオトープの生態をカメラにおさめる方もありました。時間がやや足りなかったようでした。



9月20日(火) 10:00～11:45  
ボーイスカウト柏第7団ビーバー隊(学齢前児童) 10名と引率者

お母さんと一緒にザニガニ釣りに興じる子どもあり、楽しい一時を過ごされたようでした。



9月27日(火) 15:15～16:00  
かしわ環境ステーション生物多様性部会主催の生き物フェスタ「北と南の谷津を巡るバスツアー」50名(引率者:かしわ環境ステーション係員4名、環境政策課2名)

概要説明の後の現場見学は人数が多いため、2組に分かれて行いました。(影山 賢三)



## 名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか?

交通：柏駅東口より東武バス(5番乗り場)「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車  
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種(内、千葉県指定保護生物26種)

(2013年、年間を通じて観察した生きものの種類)